



令和2年4月7日

原爆ドームの見学会ならびにヤンレツル生誕 140 周年を記念した
写真説明会を実施します（学生・留学生はオンライン配信で遠隔参加）

広島大学原爆瓦発送之会(会長：嘉陽礼文：かようれぶん)は、被爆から75年を数える本年の平和企画のひとつとして、広島県物産陳列館（現・原爆ドーム）の設計者ヤンレツル（明治13年（1880年）4月9日-大正14年（1925年）12月26日）の生誕140周年を記念し、会長の嘉陽礼文によるヤンレツルの生前の写真等の紹介ならびに原爆ドームの見学会を下記のとおり行います。（ドーム敷地内には入りません）

当日は写真パネルを使用して生前の写真を紹介するとともに、原爆ドームの周囲を歩きながら、目視で確認可能な建築構造の特徴や落下部材などについての説明をします。また、当日の様子を記録写真をチェコ共和国在住のヤンレツルの親族ならびにチェコ共和国大使館へ提出します。

ヤンレツルの写真は、平成28年9月に本学からの訪問団がチェコ共和国を訪問した際にヤンレツルの遺族から紹介されたものです（現在、当該写真についてはナホド市の公文書館が所有しています）今回、使用する写真は、平成28年10月にチェコ訪問報告会を実施した際の展示会写真から抜粋したものです。

記

日 時：令和2年4月9日（木） 14:00～14:10 パネル説明会
14:10～14:30 見学会
場 所：平和記念公園原爆ドーム周辺（広島市中区大手町1-10）
（集合場所 原爆ドーム南側広場、噴水の近く）
説明担当：嘉陽礼文 広島大学原爆瓦発送之会会長
通訳担当：永井敦 広島大学森戸国際高等教育学院特任助教

（新型コロナウイルス感染症対応のため、学生、留学生の現地参加を中止とし、参加予定学生に対しては、現地から動画配信を行います）

【お問い合わせ先】

広島大学原爆瓦発送之会 嘉陽礼文
TEL : 090-1185-1620

発信枚数：A4版 4枚（本票含む）

【本学とチェコ共和国との平和交流の歴史】

本学とチェコ共和国に関連する平和交流は、広島大学原爆瓦発送之会会長の嘉陽礼文が平成 22 年に当時の本学学長浅原利正の助言により世界の博物館へ原爆瓦寄贈につき打診をしたところ、チェコ軍事博物館から受贈承諾の返答を受け発送したことから始まります。

平成 26 年 2 月に同会の嘉陽礼文がチェコ共和国ナホド市にあるヤンレツルの墓参を実施。

平成 27 年 8 月 6 日にチェコ下院議会ならびにチェコ大使館からなる訪問団が本学霞キャンパスへ訪問した際に産業奨励館破片を寄贈（現在、チェコ下院議会に常設展示中）

平成 28 年 3 月に同会の嘉陽礼文がチェコ下院議会ならびに在チェコ日本大使館表敬とヤンレツル墓参を実施。同年 9 月に同会の嘉陽礼文ならびに本学訪問団がチェコ下院議会表敬と、ナホド市ならびにヤンレツルの親族へ産業奨励館破片を寄贈（現在、ヤンレツルの生家建物であるホテルブランカのロビーにて常設展示中）本学は今後も平和教育、原爆犠牲者への慰霊、原爆の記憶の継承、についてチェコ共和国関連機関との協働平和活動を継続して実施します。

〔紹介する写真（抜粋）〕【出典 ナホド市公文書館（Státní okresní archiv Náchod）】



和服姿の肖像写真



家族写真（右から二人目がヤンレツル氏）



1913 年 12 月 29 日付、ナホドの母宛に送った絵はがき「広島でミュージアム建築をする事になった」という内容が確認できる（赤下線部分）（翻訳、ユリエホニシヨバー氏）

【原爆ドームでの説明カ所（抜粋）】



原爆ドームのデンティル（三階窓枠の上部）



敷地内にある、落下したデンティル



原爆ドームの門柱と門柱笠石



敷地外にある、倒れた門柱



原爆ドームの窓面台



敷地内にある、落下した窓面台と門柱笠石

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

原爆ドームの見学会ならびに
ヤンレツル生誕 140 周年を記念した写真説明会を実施します

日 時：令和2年4月9日（木） 14：00～14：10 パネル説明会
14：10～14：30 見学会

場 所：平和記念公園原爆ドーム周辺（広島市中区大手町 1-10）
（集合場所 原爆ドーム南側広場、噴水の近く）

ご出席

ご欠席

貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____（計 名）

電話番号 _____

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、4月8日（水）12：00まで
にご連絡願います。